

会員の声

カビ取り屋.com 物語

カビ取り屋.com 代表

三井 裕

はじまりの物語

「カビ取り屋.com」を創業したのは2010年2月。当時、「カビ取り専門業者」という存在はまだ世の中にほとんど知られておらず、インターネットで検索しても情報はごくわずかでした。

「そんな商売は成り立たない」と多くの方に反対されたのですが、「困っている人が必ずいる」と信じ、ゼロからの挑戦を始めました。やがて新聞やテレビに取り上げられるようになり、認知度が高まると同時に同業者も増えていきました。時折「競合が増えて大変でしょう」と声をかけられることもありますが、私は彼らを“競合”ではなく“共業”と考えています。困っている人を救う仲間が増えることは、社会にとっても大きな意義があるからです。

大切な出会い

創業して間もない頃、私たちにとって大きな転機となったのが「カビ相談センター」の高鳥先生との出会いでした。カビについて知識も経験も浅かった私たちに、先生は親切丁寧に指導してくださいました。施工現場で直面する課題を一つひとつ解き明かし、正しい考え方を教えてくださったのです。私たちは単なる表層的なカビ除去にとどまらず、建物環境や生活習慣に起因する要因を踏まえた包括的な対応の重要性を学び、知識を基盤に据えたことで、サービスの質は大きく向上しました。

そのおかげで「目に見えるカビを落とす」こ

とにとどまらず、「再発を防ぐための環境改善」や「人の健康・暮らしの安心」にまで目を向けるようになりました。先生との出会いがなければ今のカビ取り屋.comは存在しません。私にとって、高鳥先生はまさに“生みの親”ともいえる存在です。

現場での物語

私たちの仕事は、お客様からの一本の電話やメールから始まります。「とにかく不安で仕方ない」「家族の健康が心配」といった切実な声をよく伺います。その後、現地調査を行い、原因を特定し、解決策を提案した上で施工に入ります。施工はカビを除去するだけでなく、防カビ処理や内装工事、換気・生活習慣の改善提案まで含めた包括的な対応です。

2024年度の実績では、いただくご相談の約3割が「健康への影響」に関するものでした。小さなお子様や高齢者を抱えるご家庭からのご依頼は特に増えています。

長年カビに悩まされて、そのことが夫婦間のトラブルの火種になってしまっているご家庭からのご相談を受けたことがあります。壁一面に広がったカビを目の当たりにし、「これでは家の中で心からくつろぐことができないだろう…」と胸が痛みました。

施工後、ご夫婦は「これでまた一緒に笑って暮らせます」と笑顔で話されていました。カビを取ることが、家族の絆を取り戻すことにつな

がる。そう実感した瞬間でした。

ある賃貸住宅ではカビを巡ってオーナー様と入居者様が激しく対立していました。双方の立場に寄り添いながら施工を進めて無事に解決し、「あなた達のおかげで安心して住み続けられます」と笑顔を見せていただけた瞬間、お役に立てたと心から嬉しく感じました。

また、住宅にとどまらず、ホテルや大型店舗からのご依頼も増えています。宿泊客や利用者の安心・快適さを守るため、迅速かつ確実な対応が求められる現場です。施工後に「これでお客様を安心して迎えられます」と言っていただけると、社会的な責任の重さを改めて感じます。

大切にしていること

私たちは創業当時から「誠実さ」と「王道」を大切にしてきました。お客様の困りごとに正面から向き合い、できる限りの最善を尽くす。儲けよりも「ありがとう」の言葉をいただけることを何よりの喜びにしてきました。

この姿勢を守り続けてきた結果、現在では大手設計事務所様や建設会社様からの相談も増加しています。

仲間と共に歩む

現在のカビ取り屋.comには、志を共にするスタッフがいます。現場を共にする仲間がいる

からこそ、より多くのお客様に誠実に対応でき、質の高い施工を提供できています。そして私は社内の雰囲気の良さを密かな自慢にしています。社員がいつも笑顔で過ごし、お互いを信頼し合える空気感があるからこそ、お客様にも安心感を届けられるのだと思います。また現在、社員達が自主的に「カビ取り兄弟」としてYouTubeで情報発信を行い、現場のリアルや生活の工夫を紹介しています。「動画を見て相談しました」と声をいただくことも増え、正しい知識を広める意義を強く感じています。

感謝とこれから

ここまで歩んでこられたのは、信頼して依頼してくださいましたお客様、関係者、そして一緒に現場に立つスタッフと協力会社の皆様のおかげです。この場を借りて心から感謝申し上げます。

カビは見た目の問題にとどまらず、住環境や健康に大きな影響を及ぼします。私たち「カビ取り屋.com」は、これからも“安心して暮らせる環境づくり”を使命に、学びと実践を重ねていきます。

創業から15年を迎え、改めて感じるのは「専門性」と「信頼」の大切さです。これからも進化を止めることなく、業界全体の発展に少しでも貢献できればと願っています。